

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会

編集者：代表幹事 高橋賢一

連絡先：市民活動支援センター

尾張旭市渋川町三丁目5番地7

(渋谷福祉センター内)

TEL 0561-51-2878

中東大動脈で
 環状七号線の地下
 約五メートルの空間
 に内径サニタール超
 の巨大なトンネルがある
 のを「存じ知らず」か。
 過去、はるうを繰り返
 した神曲などの水の遊
 げ場として整備工事か
 進む防災目的の地下
 調整池である
 台風や集中豪雨の際に
 その機能を發揮している



河川決壊をもた
らした台風をもた
らした台風19号
の傷が癒えな
い二週間後日光へ
船の取材で東京
へ行っておりまた
が電車から下りると
多摩川と被害者
は浸水した自宅
の片付けなどに
追われ大変でし
た被害などで取
も大きな影響を
受けるのは女性や
子供、お年寄り
や障害のある



人になどいわずに、
 人に弱い立場にある人です。
 また、これからが、
 動きどろみどろみ
 きてその中で日本の政
 楽しい日本と主である
 が、
 金が首相の言葉です。
 何を為しているのか
 金々わかない。残念です。
 出来れば靴をぬいて、
 足で国会周辺を五周
 歩いたら、
 よう。子供達は今健康
 身体を作っておりす。

